

『モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組の検討状況(中間報告)』 及び『公共ホールのあり方を踏まえた検討状況(中間報告)』をとりまとめました

本市では、保有するさまざまな施設の最適な維持管理や活用等を行うため、令和4（2022）年3月に「資産マネジメント第3期実施方針」を策定するなど、資産マネジメントの取組を進めてきたところです。

「資産マネジメント第3期実施方針」では、機能重視の考え方に基づき、施設が持つべき機能について検討を行うとともに、施設におけるこれまでの使用目的、対象者等や、従来の施設配置の考え方について再検討することとしており、地域ごとの資産保有の最適化の取組及びホール機能に着目した取組を推進してきました。

この度、それぞれの取組の検討状況として、『モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組の検討状況(中間報告)』及び『公共ホールのあり方を踏まえた検討状況(中間報告)』をとりまとめたのでお知らせいたします。

なお、中間報告の内容については、以下のページに掲載しています。

掲載資料 『モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組の検討状況(中間報告)』

【URL】 <https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000172956.html>



掲載資料 『公共ホールのあり方を踏まえた検討状況(中間報告)』

【URL】 <https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000169515.html>



＜中間報告の主な内容＞

● 『モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組の検討状況(中間報告)』

- ・市内で4つのモデル地域を選定し、市民参加の取組として、「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」を令和5年度から2か年で実施し、これまで様々な御意見・アイデアをいただきてまいりました。こうした御意見・アイデアや意見交換から見えてきたことを踏まえ、「今後の取組の視点」を整理しました。
- ・モデル地域内における施設の適正配置に係る検討の起点となる施設について、利用状況等の整理・分析などを行い、各施設が有する課題の度合に応じて、「複合化等検討施設候補」と「利用向上施設候補」に分類し、今後、「今後の取組の視点」を踏まえ、検討を進めています。

●『公共ホールのあり方を踏まえた検討状況（中間報告）』

- ・令和5(2023)年8月にとりまとめた「公共ホールのあり方」を踏まえ、利用合理性（本番稼働率）と経済合理性(利用者あたりのコスト)の2つの指標から、今後の検討の軸となる施設を抽出しました。
- ・今後、この軸となる施設を中心に、利用用途毎に、他施設への需要移転の可能性を検証しながら、機能・規模の見直しの検討を進めるものとし、検討にあたっては、利用者の御意見を丁寧に伺いながら取組を進めています。

問合せ先

川崎市総務企画局公共施設総合調整室

(モデル4地域の取組に関すること)

電話 044-200-1226 白須

(公共ホールの取組に関すること)

電話 044-200-1228 島田